

# グリーンフラッグ 10月の活動

## ～大収穫を迎えて～

相川小の「冒険米」が実り、10月5日稲刈りが行われました。相川小学校という小さな学校だからこそできる縦割りでの稲刈り。1年生は、初めて使う鎌に少しドキドキしながらも、そばで見守る6年生が優しくアドバイスする姿が伝統です。田んぼを貸してくださる地域の方や農協の方もお手伝いに来てくださいました。刈り取ったお米は12月の「おはぎ集会」でこの1年の感謝を込めて食べたいと思います。



## ～秋みつけ・何をみつけましたか？～



真っ青な空が澄み渡り、外に出て、心から秋を見つけたくなるような日になりました。木漏れ日がさす相川の森にはたくさんの木に実や葉っぱ、キノコが見られました。班同士の絆が深まった中での秋みつけで、発達段階に応じた活動を6年生が考えてくれました。主に低学年が中心になって、

秋らしさを探していたようです。見つけた物は、5年生と6年生が写真に撮るべきものか判断して、今回もタブレットを使って写真に撮りました。

見つける活動が終わると教室に戻り、見つけた物をカードにまとめていきます。写真の印刷が思うようにいかなくて、付箋だけになってしまった班もあり、課題が残る活動ではありますが、1年生から6年生が集まって自然に触れ、季節を感じる良い機会となっています。

最後は、班ごとの発表になります。春に比べると生き物が大きくなっていたり、きれいな色になっていたり、種になっていたりとということがわかりました。拾った物をそのまま画用紙に貼る班もありました。

今回、少しでも名前がわかるようにと環境委員会で作った図鑑が少しは役に立ったようで、採ったものと絵合わせをしながら、見つけたものを調べる姿が見られました。来年は、今年の図鑑に写真を足して、調べられる数を増やしたいです。

## 昆虫を探そう！



10月、「どんぐりクラブ」のみなさんが、1・2年生を対象にして、観察会をおこなってくださいました。今年は、草原の生き物の観察でした。

虫取網を持って相模川の土手やほほえみ広場を元気に走りまわる子ども達。たくさんのバッタなどを捕まえました。虫の種類が多いということは、その場所の自然度が高いということです。楽しみながら、相川の自然に触れることができました。



## 収穫コーナー

職員玄関前には、各学年の収穫物やカキやザクロ、クルミや銀杏、トチの実やバラボックリと、たくさんのものが並びました。もちろん相川冒険米や落花生もです。

自然の恵みに囲まれた相川小です。

